

検定チェックシート 2016

公益社団法人日本山岳ガイド協会 試験・研修委員会

検定資格：

自然ガイド・ステージ I

検定科目：

**無積雪期自然観察路ルートガイディング
自然解説技術、安全管理技術**

日 程：平成 年 月 日～ 日

検定員氏名： _____

検 定 地： _____

【検定方法】

- ・受験者一人当たり 1 時間程度、検定員が適切なコースを指定して検定する。
- ・規定の項目に従って、場所の設定、検定内容、方法等を説明する。
- ・天候、場所受験者人数等状況に応じて検定員の判断で検定順などは適時変更して実施。
- ・検定内容によっては、他の受験者または検定員等をクライアント役に決める。必要に応じてクライアント役の条件を設定（男、女、年齢、体力、経験等）する。
- ・検定に当たり明らかに間違った方法、能力不足で危険な場合は検定を中止させる。検定後に、間違い、知らない技術について講習、研修させても良い。

【検定チェックシート記入目安】

優秀	5 点	〔非常に良い、質的にも量的にも〕
良い	4 点	〔良い、要求に適切に対処できる〕
やや良い	3 点	〔最小限の要求に対処できる〕
やや出来ない	2 点	〔不完全、足りない〕
ほとんど出来ない	1 点	〔非常に足りない〕
まったく出来ない	0 点	〔仕事として使えない、仕事をしなかった〕

【合格基準および検定項目の採点方法】

- ・各項目は 5 点満点評価を行う。
- ・合格基準は満点に対して 70%以上でなければならない。また 2 点以下があってはならない。

項目 () 内は配点	受験者氏名					
自然解説技術						
1. 自然についての知識	小合計→					
1 試験会場における植物や植生についての十分な知識	(5)					
2 試験会場における動物、鳥類、昆虫類などについての十分な知識	(5)					
3 試験会場の歴史、文化、地誌、気候の特徴などについて十分な知識	(5)					
4 地形図を使って、山座同定し 解説できるか	(5)					
2. 解説技術	小合計→					
1 楽しめる、興味を持てる解説	(5)					
2 自然解説に必要な用具を所持と、活用(ルーペ、双眼鏡、図鑑等)	(5)					
3 解説資料の作成、配布、活用は適切か	(5)					
3. 環境に対する配慮	小合計→					
1 環境に配慮が感じられるか(ゴミの処理、トイレ、踏み荒らし他)	(5)					
ガイディング技術						
4. ガイディングに適切な服装と装備について	小合計→					
1 ガイドらしい服装と装備か(別紙装備表参照)	(5)					
5. 出発準備について	小合計→					
1 自己及び参加者の紹介と服装、装備確認	(5)					
2 コース及び当日の天気の概要説明と行動上の注意をしたか	(5)					
3 準備運動をしたか	(5)					
6. ガイディングについて	小合計→					
1 休憩地の選択と取り方は適切か	(5)					
2 休憩時の声掛けは適切か(水分補給、服装、疲労低減など)	(5)					
3 危険個所での通過(枝、落石、踏み外しなど声掛け)	(5)					
7. 安全管理・危急時対応	小合計→					
1 危険植物・昆虫などの知識はあるか(問いかけても可)	(5)					
2 熱中症の知識・注意配慮はあるか(問いかけても可)	(5)					
3 急な雷雨時での対応方法は適切か	(5)					
4 テープスリングで、シートベント結びによる簡易ハーネスを作れるか	(5)					
8. ホスピタリティ	小合計→					
1 全体を通じてホスピタリティを感じるか(細やかな心遣い)	(5)					

【判定】

合計点 (70点以上が必須、2点以下がないか)						
総合評価(検定員による判定)	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No

講習項目（※各項目を理解し、出来るようにする）

ロープの使用、搬送						
1	横方向への固定ロープ					
2	ロープを使った登下降					
3	ザックを使った背負い搬送					
4	ツェルトの設営					

実技検定試験の装備について

●自然ガイド無積雪期実技検定基本装備

☆印は工夫の範囲で、必需品ではありません。

品名	備考	品名	備考
リュックザック (40ℓ以上)	1(背負搬送の荷重に耐えられる強度のもの)	水筒(真水を含めること)	1
防水スタッフバック	適量(ザック内の全装備を入れられる容量のもの)	サーモス(保温ポット)	1
ツールナイフ	1	行動用食糧	適量
サングラス	適量	ビニール袋	適量(ごみ処理用等)
ヘッドランプ	顧客用予備も含めて複数	食器,箸,スプーン,フォーク等☆	1セット
ツェルト	1 (床 130×210cm 程度)	タオル	適量
地図およびルート図	地図は 1/25000 のこと	トイレトペーパー	適量
時計	1	筆記用具	1
プレートコンパス	1	日焼け止め等☆	1
高度計	1(腕時計タイプで可)	虫刺され薬等☆	1
ファーストエイドキット	1(熱中症対策も忘れず)	洗面用具☆	1
テーピングテープ	1(38mm幅)	健康保険証	1(コピー可)
バーナー&燃料+クッカー	1 ※注1	ガイドに相応しい服装	適量
ライター	1	トレッキングシューズ	1
ストック	1セット(顧客の非常時用)	雨具	1
検定地域のガイド用資料	適量(図鑑・観察用具等)	宿泊施設での着替え☆	適量
顧客配布用ガイド資料	7部以上	折りたたみ傘☆	1
		その他ガイドとして必要なもの	適量(修理用具など)

○持参する装備は容量重量共に工夫し必要なものはすべて忘れないこと。

(装備の不備があった場合、検定評価対象以外のものであっても、減点の対象になることがある。)

○ガイドに相応しい服装とは、検定エリアの気候・地理に合うもので、プロとして清潔感があること

○検定日の昼食は行動食として各自で工夫すること。

※注1 航空機を利用して受験される方は燃料の持参が無くても可。

●無積雪期実技検定試験に伴う専門装備

品名	備考	品名	備考
クライミングロープ 8mm×20m以上	1	皮手袋(ロープワーク用)	1 双
安全環付カラビナ (1枚は、HMS)	3	登山用安全ベルト(スワミベルトでも可)	1
カラビナ	2		
ソウンスリング 150 c m以上	1		
ソウンスリング 120 c m	2		
ソウンスリング 60 c m	2		

検定概要 (コース・内容)

【受講者への講評】